

## 公 安

### 警察組織

県警察本部の下に警察署32, 派出所 106, 駐在所 406, と機動隊によつて組織され 2 000 人の警察官を配して県下の治安に当つている。

### 犯 罪

昭和34年の刑法犯は26 175件で窃盗が63%と過半数を占め, 以下傷害, 詐欺, 横領の順となつている。なかでも兇悪犯罪の強盗 106 件, 殺人57件に上り, 社会的にも見逃すことのできないことである。戦後24年を最高に26年まで減少を示した犯罪が以降再び漸増の傾向にあり, その原因がどこにあるかは今後の本県治安行政に重要な要素となることであろう。また34年の総検挙件数は16 345件, 解決率で62.7%となつている。

### 交通事故

交通事故は最近の自動車の急増にともない増加の一途にあり, 昭和29年の1 608件に比べ, 34年4 994件, 実に3倍強の増加となつている。原因別にみると「徐行違反」が最も多く, 次いで「追越不適當」「脇見操従」とつづいている。また無免許運転によるものが13%を示し, これも見逃すことのできない一つの原因となつている。

### 火 災

県下の消防組織は35年4月1日現在で12市に消防署が設置されている。消防団は団数101, 団員数69千人を数え, 消防自動車354台, その他消防機械2 800台を配備し火災に備えている。また34年には539件の火災があり罹災世帯271戸, 死傷者108人, 2億円を消滅した。